

920MHz帯 マルチホップ無線システム



明日を未来にする。
Next Energy

ネクストエナジー

-現在、注目されている920MHz帯(プラチナバンド)を利用した無線データ伝送システムです-

3つの特徴

920MHz帯

マルチホップ

軽量タイプ

3つの効果

施工性の向上

起伏・障害物に強い

ノイズに強い



親機



子機

■製品ポイント

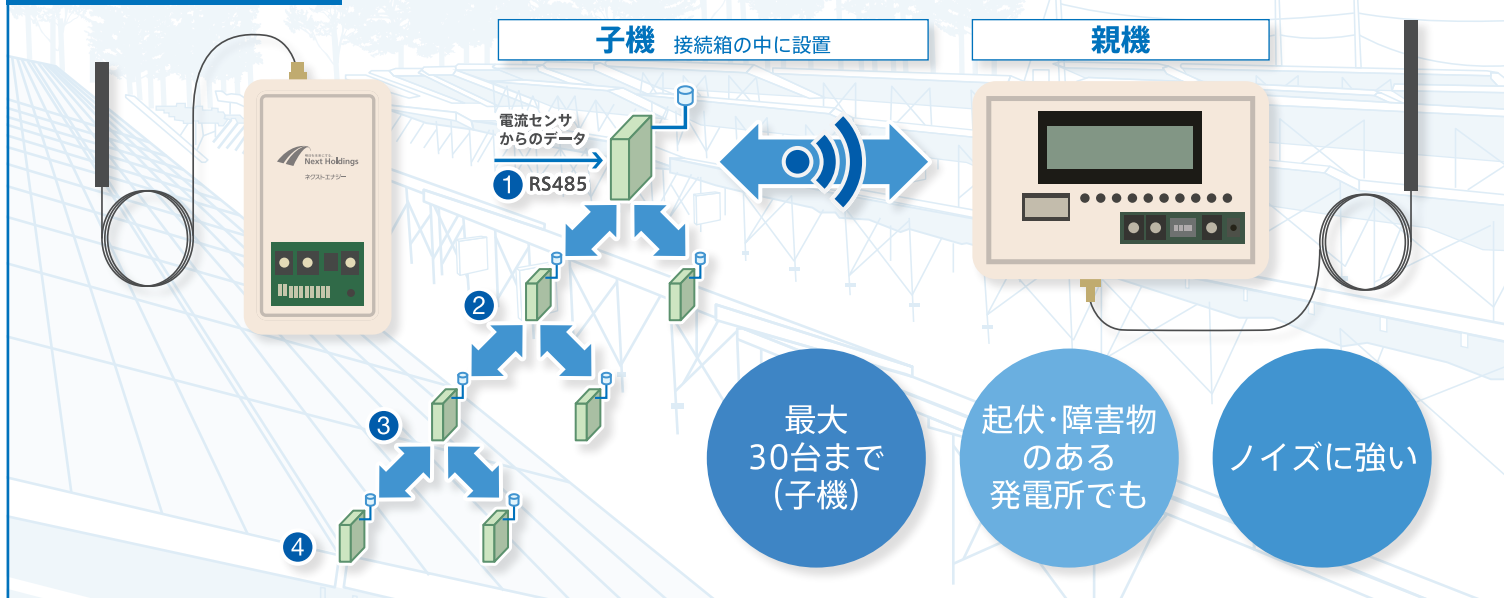
- ① 920MHz帯により、通信の安定化を実現
- ② マルチホップ機能搭載
- ③ 親機・子機ともに軽量！後付け施工も簡単に

※太陽光発電以外にも広い用途でご利用いただけます。
(工場などのFAシステム、屋外での通信など)



マルチホップとは？

複数の無線通信装置が隣接し合う他の無線通信装置を経由して、リレー式にデータを伝送していく通信方式を指します。



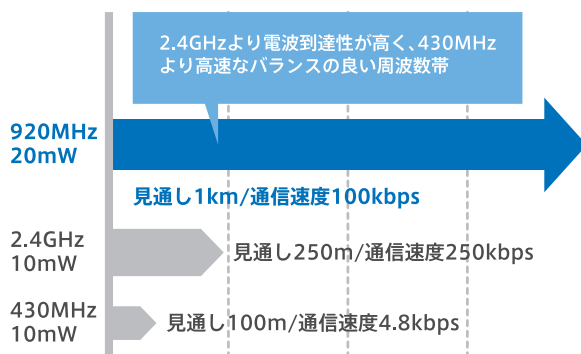
製品仕様

項目		親機	子機
有線仕様	物理インターフェース	RS485	
	対応プロトコル	MOD Bus/RTU(半二重)	
	通信速度	9600bps	
	通信パラメータ	DATA : 8bit / パリティ : なし / STOP : 1bit	
	端末最大パケット数	256byte	
無線仕様	使用周波数帯	920MHz 帯(922.3~928.1MHz)	
	チャンネル数	14ch	
	PAN ID	1-99	
	変調方式	2GFSK	
	送信電力	10dBm typ.	
	受信感度	Max -88dBm@PER<10% (モジュールアンテナ端子)	
	接続可能数	—	30台
	マルチホップ段数	最大3段	
	消費電流(24V版)	100mA	30mA
電源電圧	5V, 12V, 24V から選択		
寸法(突起物含まず)	W135×D35×H76mm	W69×D28×H115mm	

920MHz 帯とは？

つながりやすい920MHz帯

マルチホップ通信技術は、高い電波到達性を持つ920MHz帯を利用することで、より広範囲な通信距離をカバーできるネットワークを構築することが可能となり、設置場所を選ばず、安定した通信を実現できます。



ストリングデータ収集を無線化。

敷設コスト・ノイズトラブル等有線通信の悩みを解消。

後付け設置可能。

RS485Modbus有線通信路の置き換えとして太陽光以外への適用も可能。

NEDCR-101シリーズ

- NEDCR-101P24/12/5 親機(各24V/12V/5V電源対応機)
- NEDCR-101K24/12/5 子機(各24V/12V/5V電源対応機)
- NEDCR-A10 Normal Gainアンテナ
- NEDCR-A11 High Gainアンテナ



本社 〒399-4117 長野県駒ヶ根市赤穂11465-6
 東京支店 〒160-0023 東京都新宿区西新宿1-23-7 新宿ファーストウエスト14階
 大阪営業所 〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島3-10-13 物産ビル6階
 名古屋営業所 〒452-0003 愛知県清須市西枇杷島町末広77